

膚とが固着されており、^{ゆうぜい}疣贅や腫瘤の訴えで受診されることもある。十分吸血したマダニは自然に脱落する。マダニを媒介する感染症に、ライム病（次項）、日本紅斑熱およびロッキー山紅斑熱（表 28.2 参照）、重症熱性血小板減少症候群（p.569 MEMO 参照）などがある。

病因

ダニの一種であるマダニによる。マダニは体長2～8mmの大型のダニである。通常、山林などで草木の上に生息しており、ヒトや動物の皮膚に吸着して吸血する。日本では、シュルツェマダニ *Ixodes persulcatus* やヤマトマダニ *I. ovatus* によることが多い。

治療

吸着しているマダニを無理に引っ張ると、口器を残してちぎれ、後に異物肉芽腫を形成するため、剪刀を刺咬口に差し込んで口器ごと取り出すか、マダニをつけたまま皮膚を切除あるいはパンチで除去する。摘出後1～2週間は、ライム病発症予防のためにテトラサイクリン系ないしペニシリン系抗菌薬を内服する。

8. トコジラミ刺症 bedbug bite

学名 *Cimex lectularius*、ナンキンムシともいう。体長約5mmの昆虫（カメムシの仲間）で、普段は畳やベッドの隙間などに生息し、就寝中のヒトを吸血する。唾液腺物質によるアレルギー反応を生じ、露出部を中心に紅色丘疹が並ぶ。症状や治療は虫刺症に準じる。近年、簡易宿泊所の普及などによりトコジラミ被害が増加している。

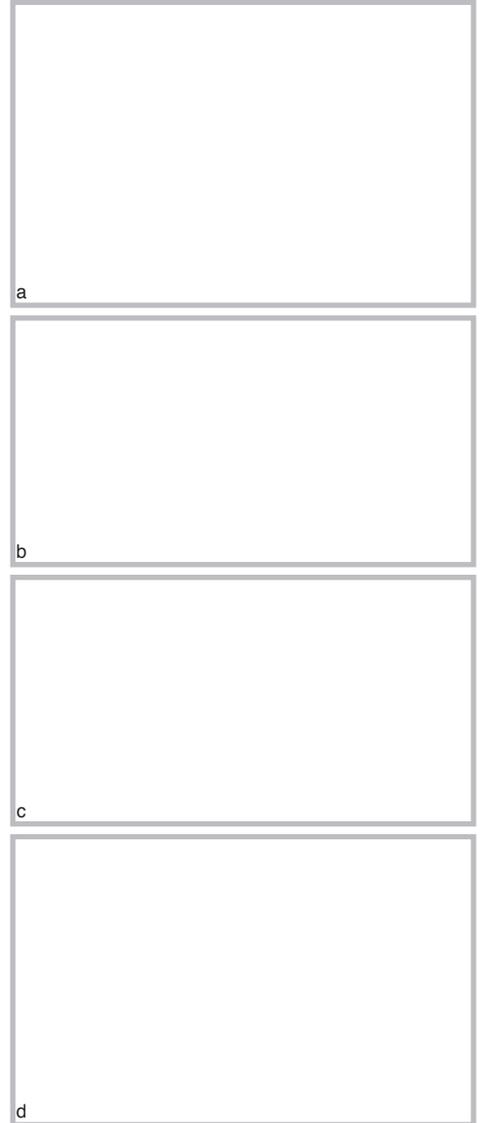


図 28.10 マダニ刺咬症 (tick bite)
 a: 鎖骨部。咬まれて2時間後の所見。ダニの足は動いていた（筆者を実際に襲った北海道のマダニ）。b: 下瞼の刺咬例。c: 眼瞼部の疣状皮疹として来院した例。d: 項部の吸血後のマダニ。

B. 昆虫などが媒介する皮膚疾患 skin diseases transmitted by insects and other animals

1. ライム病 Lyme disease, Lyme borreliosis ★

Essence

- スピロヘータの一種であるボレリア (*Borrelia*) による感染症。マダニが媒介する。